



かかや子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

遠く(とお)の山々(やま)が美しい(うつく)錦(にしき)の装(よそお)いをはじめ、朝(あさ)は、肌寒(はだざむ)さを感じる(かん)季節(きせつ)となりました。今年(ことし)の夏(なつ)の酷暑(こくしょ)が嘘(うそ)であったかのようにも思います。

さて、『秋(あき)』という季節(きせつ)は、『〇〇...の秋(あき)』と〇〇にたくさんの言葉(ことば)を入れることができます。10月(がつ)には運動会(うんどうかい)を開催(かいさい)し、『スポーツの秋(あき)』ともいえる子どもたち(こどもたち)の姿(すがた)を見ていただくことができました。図画工作科(えいぶん)での平面(りつたい)・立体(きくひん)の作品(さくひん)づくりや、国語科(こくご)の書写(しやうしや)の硬筆(こうひつ)や毛筆(もうひつ)の作品(さくひん)づくりでは、表現(ひょうげん)することの楽しさ(たのしみ)を味わいながら、自分(おのれ)ならではの作品(さくひん)ができつつあります。その作品(さくひん)を教室(きょうしつ)に飾(かざ)ったり、市(し)や県(けん)等(なご)が主催(しゆざい)する作品展(さくひんてん)に出品(しゅっぴん)したりしながら、『芸術(げいじゆつ)の秋(あき)』を意識(いしき)させたいと思(おも)います。

子どもたちの「将来の夢」と保護者の願い

文部科学省(もんぶくわがくしやう)「小学校6年生(しょうがく6ねんせい)全国学力(ぜんこくがくりき)学習(がくしゆ)状況(じやうきやう)調査(ていさ)」の公表(こうひやう)されている結果(けっか)の中で、「将来(しやうらい)の夢(ゆめ)をもっていますか?」の問い(と)に對(たい)し、「もっている...68.2%」「どちらか(どちらか)といえ(といえ)ばもっている...16.9%」というデータ(と)があります。(中(ちゆう)学校(がく)3年生(3ねんせい)では、「もっている...45.3%」「どちらか(どちらか)といえ(といえ)ばもっている...27.2%」)

子ども(こども)たちは、どんな(どんな)「将来(しやうらい)の夢(ゆめ)」をもっている(もっている)のでしょうか(のでしょうか)?また保護者(ほごしや)は、わが子(わがこ)の将来(しやうらい)を、どのよう(どう)に考(かんが)えている(えている)のでしょうか(のでしょうか)?

子ども 「将来の夢は何ですか?」【2015年ベネッセ教育総合研究所調査(小学4年生~6年生・・3655人アンケート集約)】

順位	小学生男子	%	順位	小学生女子	%
1	サッカー選手	15.7	1	ケーキ屋・パティシエ	10.3
2	野球選手	9.5	2	保育士・幼稚園の先生	9.3
3	医師(歯科医師を含む)	5.7	3	医師(歯科医師を含む)	5.7
3	研究者・大学教員	5.7	4	タレント・芸能人	5.6
5	ゲームクリエイター・プログラマー	4.7	5	看護師(助産婦・保健師を含む)	5.3
6	大工	3.2	5	デザイナー・ファッションデザイナー	5.3
7	学校の先生	2.8	7	学校の先生	5.1
8	建築家	2.7	8	マンガ家・イラストレーター	3.4
9	警察官	2.4	9	動物の訓練士・飼育員	3.2
10	電車(運転士・車掌など)	2.3	9	薬剤師	3.2

保護者 「お子さまには、どのような職業についてほしいですか?」【2015年ベネッセ教育総合研究所調査(約1300人アンケート集約)】

順位	職業	順位	職業
1	子どもがやりたい仕事	6	サラリーマン
2	公務員	7	教員
3	医師	8	資格や技術など手に職をつけられる仕事
4	薬剤師	9	医療関係
5	看護師	10	学者・研究者

裏面に続く

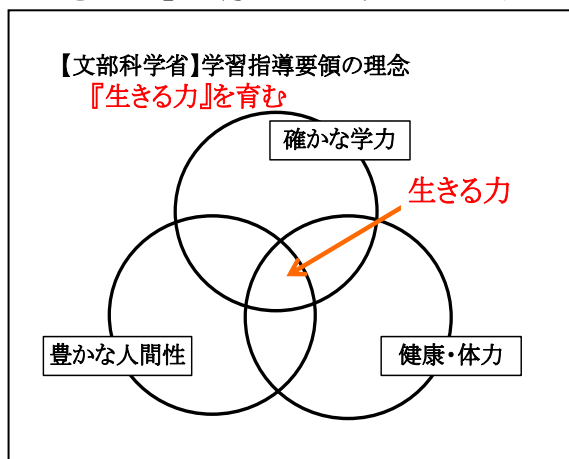
11	エンジニア	15	芸能人 (歌手・アイドル・俳優・声優・お笑い芸人)
12	安定した仕事	15	法曹 (弁護士・検察官・裁判官)
13	保育士	15	消防士
14	建築士・大工	19	通訳・翻訳家
15	サッカー選手	19	警察官

子どもたちの「将来の夢」を十分受け止めながらも、大人としての考え方も垣間見られそうです。ただこの表の夢（職業）は、今後変わっていくことになるでしょう。アメリカ合衆国の大学研究員のキャシー・デビッドソンが、「ニューヨークタイムズ」紙にインタビューで、次のように語った記事があります。

★「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%が、**大学卒業時には、【今は存在していない職業】に就くだろう。**」

私（片山）が教員になった三十数年前には、子どもたちと「将来の夢」を語る時に、まさか携帯電話の会社なんて想像もできませんでした。カラオケやCDに関する仕事なんて語れなかったわけです。

しかし現実には、どこかの職場でも、パソコンやインターネットが使われ、カーナビゲーションが車で走りたい道を教えてくれる時代になったわけです。そして、さらに短期間で社会の変革が起きているのです。大人は、子どもたちに、将来の夢を語らせながらも「どんなに社会が変化しても、社会を生きる力」を育てていかなければならないのです。（学校だより5月8日号でも掲載しましたが、学習指導要領では子どもたちに、「生きる力」を育てることが、もとめられています。）



【確かな学力】…知育

基礎・基本を確実に身につけ、自ら課題を見つけ出し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

【豊かな人間性】…徳育

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など

【健康・体力】…体育

たくましく生きるための健康や体力

全国学力学習状況調査について

4月17日に全国学力学習状況調査が、小学6年生と中学3年生対象に一斉で実施されました。調査は、【教科に関する調査】と【質問紙調査】の二つです。小学校の【教科に関する調査】は、国語・算数・理科の3教科で、国語と算数はそれぞれAとBの2種類が出題されました。

国語 A	主として	身につけておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活に
算数 A	「知識」	において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
国語 B	主として	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を
算数 B	「活用」	立て実践し評価・改善する力など
理科		主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

平成30年度は、『国語Aは、全国平均より上、国語Bと算数Bはほぼ全国平均、算数Aと理科は全国平均よりやや下』という結果でした。過去三年間を見ると上昇傾向になっていますが、結果を真摯に受け止めて「学校」はさらなる努力をしなければならぬと考えています。ただ「学校」だけでなく、「家庭」「地域」等の役割もありそうです。今後、調査結果の一部に触れながら「学校だより」等の中に掲載させていただきます。よろしくお願ひします。